



トビーのわかさわん探検隊^{たんけんたい} ワークシート



指導者用

本ワークシートは、活動中や振り返り等の参考にお使いください。

持ち物

子ども

- マップ ワークシート 探検バッグ 鉛筆
- バインダー バケツ 火ばさみ 軍手
- 時計 水分

指導者

- 無線 指導者用ワークシート ゴミ袋
- バット かご(ペットボトル・スポイト入り)

服装

- 長そで長ズボン 帽子 運動靴

安全指導

- ・ 持ち物と服装の確認をします。
- ・ ミッションポイントの確認と指導者がいるチェックポイントの確認をします。ミッション①②④は、安全上管理上、指導者の方がいるようにしてください。ミッションはどこから回っても(全て回らなくても)大丈夫です。☆印のミッションは、班で決めた好きな場所で行います。
- ・ ミッション⑥では、海と森で拾ったモノを使って作品を作ります。バケツに入る大きさのモノを拾いながら活動を進めることを伝えます。
- ・ 班で協力して活動すること、自然を楽しむことを伝えます。
- ・ 活動中は、山側を歩く、走らない、木や石を投げない、自然と仲良くすることを伝えます。
- ・ 探検バッグには、割れやすいものも入っているので大事に使うように伝えます。
- ・ 活動終了の時間と集合場所を確認します。

ミッション①

『沢の水の中を見てみよう』 1

岩の沢ログハウス前の沢で、生き物観察をします。
バットで水と落ち葉をすくいます。
すくう時に、水の中で落ち葉を振りながらすくうと、
落ち葉から生き物がとれます。

沢では、ヨコエビが観察できます。
ヨコエビは、落ち葉の下などに生息し、落ち葉を食べます。
生息するのは沢の栄養が豊富（落ち葉などがある）な
証拠です。

また、落ち葉を比べてみて、
食べられた葉を見つけるのも面白いです。
葉脈は固いので、
切り取られているような模様が、食べれた後です。
生き物が生活するには、沢は自然のままの姿が良いので、
一度に沢に入る人数は、バットの数までとしてください。
見つけた生き物や落ち葉は、
特徴を捉え、ワークシートに絵を描くようにして下さい。

季節によって見える生き物が異なります。
特に夏場はたくさん見ることができるので、
参考として3ページに記載してあります。

また、トンネルと上流部分は立ち入り禁止ですので
ご注意ください。

ミッション①

『沢の水の中を見てみよう』 2

バットを使っての採取



ヨコエビ



落ち葉



立ち入り禁止場所



ミッション①

『沢の水の中を見てみよう』 3

夏に見ることができる生き物



ヤマトヌマエビ



クロヨシノボリ



サワガニ



カワゲラ

ミッション②

『沢の水は海にどのように流れる？』

赤石の浜で実験をします。
海の水をペットボトルに入れ、
沢の水をスポイトでそっとペットボトルにいれます。
沢（淡水）の水は軽く、海水は重いため、
海水の表面で、沢（淡水）の水が、
ぼや～と広がります。
目を凝らしてみないと、分からないので
しっかりと見るように子どもたちに伝えてください。

ペットボトルの中のように、
海の中でも同じことが起こっています。
沢から流れた水は、海の表面を流れ、
栄養分を遠くまで運び、いずれ混ざりあいます。
海の中から見ると、沢の近くの水は、
同じようにぼや～となっていると思います。
ぜひ、海に入りよく見てみてください。



←よく見ると、
ぼや～となっています。

ミッション③

『コノキドコノキ?』

ふれあい広場（大階段上）で行う活動です。

ルール

班で一人、目を閉じる人を決めます。

目を閉じたら、他の人たちは、

周囲に生えている木から班で一本だけ木を選びます。

目を閉じている人を選んだ木まで連れていき、

触れたり、匂いをかいだりします。

特徴を捉えたら、スタート地点まで戻り、

目を開けて今触れた木を探しに行きます。

自然に触れる要素と仲間を信頼する要素が含まれています。

木の特徴（触った感じや匂いなど）を

見極めることができたか、目を閉じているときと開けているときの感触の違い、などの問いかけで振り返りを行うことができます。

ミッション④

『同じものを見つけよう』

ポイントにいる指導者が、事前に木の実や葉っぱなどを集めておきます。ポイントに班がきたら、集めておいた自然物を見せ、同じものを探してくるよう伝えます。全く同じ自然物はなかなかないことに気づき、自然物と人工物の違いを考えたり、モノの特徴を見つける視点を養ったりする活動です。

指導者と同じもの

（どこまで同じかは指導者にお任せします）を班で何個見つけることができたかを記録します。

制限時間や範囲を指定すると安全管理も比較的しやすいです。

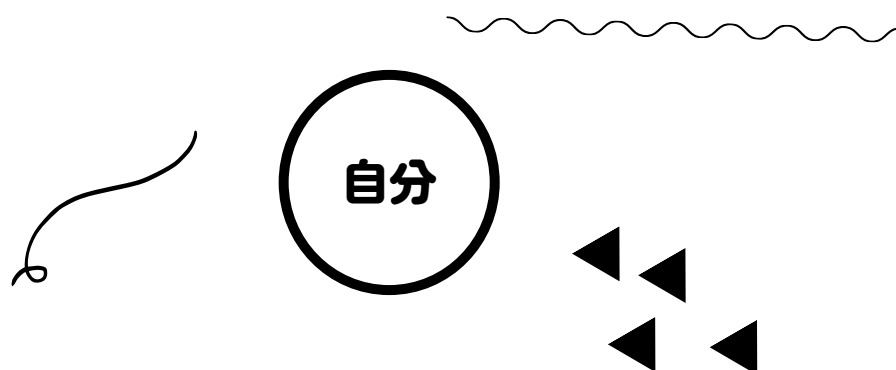
ミッション⑤

『沢のサウンドマップ』

ミッション⑤⑦は、
聴こえてきた音を形や記号で描く
活動です。

沢と海の音の違いや、
人によって異なる音の表し方などを
振り返りで触れると良いと思います。

例



ミッション⑥

『海と森の美術館』

海と森で拾ってきたモノを使って、
大浜に班で一つ作品を作ります。
バケツに入る大きさのものを基準に
拾うようにしてください。
指導者が作品のタイトルを当てられたら
クリアにするなどの工夫ができます。

振り返りや作成時に、
海や森にあるゴミについて触れることで
環境問題についても考える機会になります。

作品は、
活動終了後に片づけてください。

ミッション⑧

『海の色を見てみよう』

なぎさ遊歩道・多目的棧橋・タイドプールまでの道で、海の中を覗いて色を見つけます。
見つけた色は、ワークシートの地図に描きます。

海は青色で表現しがちだが、
全て同じ青色ではないことに気づいてもらいます。
また、砂浜や海藻の色にも着目すると、
色々な色があることに気づくことができます。

海藻は、
緑藻（緑）・褐藻（茶・黄）・紅藻（赤）と
色が分かれています。

ミッション☆ 『心のカメラ』

2人一組になり、
カメラ役とカメラマン役に分かれます。

カメラ役は目を閉じ、
カメラマン役は写真に残したい
風景の場所までカメラ役を案内します。
撮影場所についたら、撮影開始です。
カメラ役の人の肩をたたくと
シャッターが切れます。（3秒間だけ）
カメラ役の人は風景を心に焼きつけます。
↑を交代して行います。

他の人が素敵だと感じている景色を
目に焼き付け、絵を描きます。
自然に親しみ、多様な視点を養う活動です。

振り返り

『海と森の繋がりについて』 1

海と森の繋がりについての図を見せながら以下の説明をします。

森の落ち葉や木の実が腐葉土を作り、その栄養を森の生き物が受け取ります。やがて、その栄養と森の生き物は、沢から海に流れ、広く遠くにいき、海の生き物や海藻の栄養となります。豊かな森があるから、豊かな海があります。

この豊かな自然環境を守り、自然と人間が共存していくためには、人間はどうしたらいいでしょうか。

ぜひ、考えてみて、行動に移してほしいと思います。

振り返り

『海と森の繋がりについて』 2

11ページのような振り返りをしつつ、
各ミッションの感想や結果を
共有をしたりする方法もあります。

また、まとめの一つとして、
13ページのような宣言を
個人や班で考え、発表するのもおすすめです。

『〇〇宣言』

**豊かな自然を未来に残すために、
自分たちができることや、
取り組むことを書こう**

〇〇の部分は団体や班で
決めていただいで構いません。
例) SDG s 宣言や環境宣言など

振り返りで触れた内容に関連すると、
書きやすいと思います。
また、宣言等はせず、見つけた生き物や
植物等の絵を描くでもいいと思います。

学校や家庭で取り組めそうなことを
書くようにすると、事後学習等にも
繋がるのではないのでしょうか。

あくまでも例なので、
団体独自にまとめていただいで構いません。
活動を楽しめたかどうか、体験してどうだったかの
視点を大切にしてください。